

前回審議会意見対応表

【資料2】

ページ等	指摘内容	対応
9頁以降	帯グラフで見にくい箇所がある。柄が複数あるため、精査し、わかりやすくしてほしい。	指摘のとおり修正しました。本文はモノクロ印刷が想定されるため、その点にも留意して修正します。
20頁以降	複数回答の箇所について、その旨を記載すべき。	グラフ横に記載しました。
8頁	4. 性差の違いによる生きづらさなどに対する相談支援	「女性のための悩み相談」に修正しました。
16頁以降	アンケート結果の説明文が丁寧過ぎてかえって見づらくなっている。だいたい賛成と賛成を"賛成"としてまとめる等したほうがよいのではないか。	賛成として、集約しました。
17頁以降	アンケート結果の説明文では、項目によっては現状のみの記載だったり課題まで記載していたりとなっている。アンケート結果、課題、取組のつながりを意識していただきたい。	修正しました。
23頁	「女性の管理職登用の推進にあたっての課題について」の選択肢、管理職になるために必要な条件は男性が有しているのか、について、管理職のレベルを満たす条件（知識・経験・判断力等）が明文化され、従業員に伝わっているのかどうか、このアンケート結果からは読み取れない。	今回のアンケートでは、男性に関する内容を把握しておりません。
49頁	基本方針2の文中、男女がともに自らの身体について正しい情報を持ち…について、性差という表現ではなく、「特徴」等といった表現の方がよいのではないか。	「お互いの身体の特徴を理解する」に修正しました。
35頁	目指すまちのすがたを、SDGsの前に置いてほしい。可能なら基本理念の後にした方がよい。 2030年までのSDGsを前面に出してよいのかという点も含めて検討していただきたい。	まず、本計画の基本的な考え方として、基本理念で大筋を押さえ、そこにジェンダー平等がうたわれているSDGsの視点を加えています。これが、「1基本理念」→「2SDGsを踏まえた計画」の記載の流れになります。それを踏まえ、具体的な考え方を示す「3めざすまちの姿」→「4基本目標」→「5体系」の順で全体像が見えるようにしました。
計画書全般	めざすまちの姿で、「ジェンダー平等のまち」を掲げている中、「男女共同参画」という表現が頻出するが、できる限り「男女共同参画」という表現を控えた方がよいのではないか。	法令等により「男女共同参画」表記が必要な部分などについては、「男女共同参画」という表現を使用しています。
34頁	「子供」をひらがな表記にすべき。	「子ども」に修正しました。
目標数値	健康寿命推計値について、女性の方が健康でない期間が男性に比べて長いのはなぜか。	まず、単位は％ではなく年と訂正させていただきます。この指標は、5年間で0.3年短くするという考え方で指標を設定しており、短いほどよいことになります。
目標数値	健康寿命推計値は、丹波市の現状値なのか。	ご指摘のとおりです。健康寿命の延伸という観点から、本指標を短くすることを指標としています。
目標数値	健康寿命推計値について、「自立していない期間」とは何を基準に定められているのか。	健康寿命の延伸という観点から、本指標を短くすることを指標としています。
目標数値	健康寿命推計値は、介護や健康の分野の計画でフォローしていけばいいのではないかと。指標として設定するかどうか検討いただきたい。	ジェンダーギャップ指数にも健康寿命の数値（健康寿命の男女差）があげられているため、指標として設定しています。
目標数値	性教育（デートDV防止）について、性教育とデートDVは別のものであると解釈しているため、その捉え方は間違っていると思う。どのような意図で括弧書きとしているのか。	学校教育課、健康課ともに「デートDV防止授業」を実施しているため「デートDV防止授業」に修正しました。
目標数値	講座参加者の学習の理解度について、現状の数値はどうなっているのか。指標とした理由をお答えいただきたい。	現状値は、別紙のとおり。男女共同参画講演会、男女共同参画推進員研修会、男女共同参画基礎講座参加者にアンケートを実施し、理解度を集約しています。
目標数値	審議会等への女性の参画度について、ゼロをなくすということを付帯項目として追加していただきたい。	数値目標に追加しました。
目標数値	女性の能力活用意識の割合について、指標の算出方法を教えていただきたい。	働き方に関するセミナーの受講者に対して、受講前と受講後の意識の変化についてアンケートを実施します。現在は、記述式にしており、数値の把握ができていません。
目標数値	自主防災組織の組織率について、ジェンダー平等の観点から、女性役員がどれだけいるのかということが重要なのであって、組織率ではなく組織の中の様子が見えるよう指標の設定が必要だと感じる。	自主防災組織の組織率上げることで、女性が参画する土台をつくります。今後、女性の視点を入れた避難所運営が必要であることを周知・啓発していきます。
目標数値	男女共同参画センター登録団体数について、団体はどのような内容で登録するのか。	市民プラザを利用している団体のうち、男女共同参画に関する活動をしている数を集約してきました。今後は、男女共同参画センターが、地域で活動する市民団体等のつながりをつくりたいと考えています。
目標数値	男性の育児休暇取得率について、次世代育成支援対策推進法に基づく計画との連動のため、今後の計画の策定にあたって、男女共同参画の視点や審議会の意見として、国の目標の30%、或いはそれを超えるような目標を設定していただきたい。	女性活躍推進法に基づく、丹波市特定事業主行動計画により、令和6年度の目標値を20.0%に設定をしています。